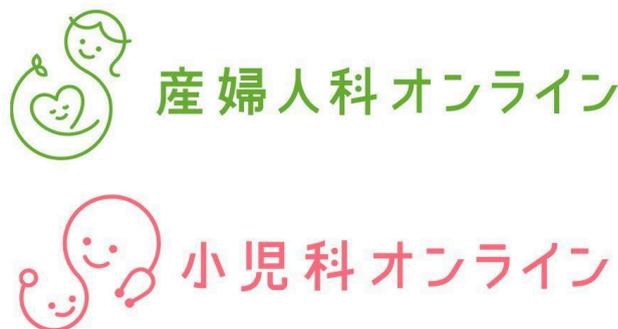


2026年 4月 1日(水)

【三重県いなべ市】『産婦人科・小児科オンライン』を導入 対面とオンライン相談の提供で「伴走型支援」をさらに充実へ

～2026年4月1日より提供。妊娠前から更年期まで、市民のライフステージを途切れなくサポート～



この度、株式会社Kids Public（東京都千代田区 代表：橋本直也）は三重県いなべ市（市長：日沖靖）からの委託を受け、同社が運営する『産婦人科・小児科オンライン』を2026年4月1日(水)より、いなべ市の住民向けサービスとして提供を開始いたします。

『産婦人科・小児科オンライン』は、24時間365日、所属する約250名以上の小児科、産婦人科、助産師にオンライン上から相談ができるサービスです。2016年に「小児科オンライン」のサービスを開始し、現在の登録者数は約15万人、導入自治体数は230以上、累計相談件数は30万件以上になります。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社 Kids Public 広報

〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町11-8 SK美土代町ビル5階

<https://kids-public.co.jp/>

担当：春山・村上

TEL：050-1732-0536

Email：pr@kids-public.co.jp

当社サービスを通じて、オンライン上から専門家に気軽に相談できる環境を整備し、すでに取り組んでいる対面支援の強みとデジタルを融合させ、いなべ市民の皆様が安心して妊娠、出産、子育てができるようオンライン健康医療相談の支援を行ってまいります。

■『産婦人科・小児科オンライン』導入の背景

対面支援の強みと『産婦人科・小児科オンライン』の活用で途切れのない健康・子育て支援を推進

いなべ市では、「第3期いなべ市子ども・子育て支援事業計画(令和7年度～11年度)」に基づき、すべての家庭が安心して子育てができる環境づくりを推進されています。

これまでも出産前の妊婦教室や、産後の「ご出産おめでとうコール」「こんにちは赤ちゃん訪問」を実施。さらに、市役所隣の保健センター棟では月4回、保健師や栄養士による育児相談を開催しています。一方で、自治体窓口が閉まる夜間や休日の相談体制、および産婦人科医、助産師、小児科医への直接的な相談機会の確保については、重要な課題として捉えていました。

今回、当社が運営する『産婦人科・小児科オンライン』が導入されることで、この課題を解決し、既存のきめ細やかな対面支援とオンライン健康医療相談によって同市が掲げる「切れ目のない子ども・子育て支援」がより強固なものにします。

さらに、『産婦人科・小児科オンライン』では、妊娠前のプレコンセプションケア（妊娠前からの健康管理）から更年期世代まで、幅広い世代の健康に関する相談にも対応しています。

本サービスの導入により、当社はいなべ市とともに、子育て世代だけでなく、女性や家族のライフステージ全般を包括的にサポートし、市民の皆様の健康支援の一層の充実に寄与してまいります。

■利用できる『産婦人科・小児科オンライン』の機能について（一部）

- いつでも相談

毎日24時間、質問をテキストで受付、原則24時間以内に医師、助産師よりテキストで回答を送付します。

- 夜間相談

平日18時～22時(1枠10分の予約制)にLINEのメッセージチャットや動画通話に対応。相談開始の15分前まで予約が可能です。

- 日中助産師相談

平日13時～17時まで予約なしで助産師とLINEのメッセージチャットで相談することができます。

- みんなの相談検索

これまで当社に寄せられた相談内容と医師・助産師からの回答をセットで検索・閲覧することができます。



■三重県いなべ市 市長 日沖靖 様 コメント

市民の皆さまがスマートフォンを活用し、出産や子育てに関する必要なサポートを、夜間・休日でも気軽にオンライン相談で受けられます。いなべ市では今後もICTを活用して、学生の皆さまも含めた妊娠前から、妊娠期、子育て期、プレ更年期まで、途切れのない保健事業の充実を目指し、市民の皆さまが安心して生活を送ることができるよう環境整備に努めてまいりたいと思います。



■三重県いなべ市について

三重県の最北端に位置するいなべ市は、人口約4万5千人を擁し、鈴鹿山脈の豊かな自然に囲まれている自治体です。「『こどもまんなか』笑顔はじける学びと育みのまち いなべ」を掲げており、生後3ヶ月までの乳児と未就園児の兄弟を保育士が一時的に預かる「産後ママサポート事業」など伴走型支援に力を注いできました。

また、学校教育分野や母子保健分野、行政運営においてもICTを積極的に活用し、住民の安心と利便性向上に取り組んでいます。 <https://www.city.inabe.mie.jp/>

■Kids Publicについて

2015年に小児科医である橋本直也が設立。2016年5月オンライン遠隔健康医療相談事業として『小児科オンライン』を開始しました。2017年には産婦人科医の重見大介が参画し、翌年『産婦人科オンライン』を開始、2023年『日中助産師相談』の運営を開始しました。登録者数は15万人以上、累計相談件数は30万件以上にのぼり、250名以上の小児科医・産婦人科医・助産師に、オンライン上から相談できる体制を構築している点が特長です。24時間365日いつでも医療者にテキストで相談できる『いつでも相談』や医療者に10分間ビデオ通話などで相談できる『夜間相談』の他、4万件以上の相談事例と医師・助産師が作成した回答を検索できる『みんなの相談検索』など多岐にわたる相談窓口を展開。

自治体への導入実績は230以上あり、オンライン相談による実証実験や効果検証・研究にも注力しています。ICTを活用して妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援に取り組み、誰もが成育過程を健やかに過ごす社会の実現に貢献しています。

【会社概要】

会社名：株式会社Kids Public

所在地：東京都千代田区神田美土代町11-8 SK美土代町ビル5階

代表者：橋本直也

設立：2015年

従業員数：35名（2025年12月現在）

所属医療者数：267名（2025年12月現在）

URL：<https://kids-public.co.jp/>

■本プレスリリースに関するお問い合わせ先

株式会社Kids Public 広報 春山・村上

TEL：050-1732-0536

Email：pr@kids-public.co.jp